

FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

フィンテック グローバル株式会社

証券コード：8789

第 18 期
事業報告書
2011.10.1~2012.9.30

投資銀行事業の再強化と 着実な成長を遂げている企業投資の収益化で、 早期の黒字化に邁進いたします。

当社グループは、近年、企業投資を事業の主軸とし、成長企業や事業再生企業への投資とその後の経営支援を強化してきました。投資先企業の多くは、安定的かつ継続的な成長を遂げており、充実度を深めています。このような中、企業価値が大きく向上した大型投資先の売却を期末にかけて予定していましたが、これを次期に持ち越すこととなったため、結果として企業投資の好調を業績に反映するには至りませんでした。

一方、当社の創業からの事業であるファイナンスアレンジメントを中心とする投資銀行事業についても、経常的な黒字化に向け悪戦苦闘しましたが、最終的な成果を出せていません。しかし、これまでの投資銀行事業の実績をご評価いただくからこそ、多種多様な企業から投資機会のご相談をいただき、国内外投資家と連携した投資案件の実現に結びついています。また企業投資においては、投資先企業の成長を促すためにも投資銀行事業で培われるノウハウは非常に重要です。

2013年9月期には、この投資銀行事業を再強化すべく、開発型不動産流動化及び再生可能エネルギー関連のファイナンスアレンジメントを受託する営業基盤を整えており、アセットマネジメント事業、公共財関連事業においても、営業赤字の解消に向けて営業推進体制の再構築や一部業務の外部委託による効率化に着手しています。

当社グループは、企業投資と投資銀行事業の両輪で顧客企業の成長、事業拡大を支援して、企業に真に必要とされるブティック型投資銀行を目指します。そして、これらの事業の収益化により、早期に黒字に転換するよう、役職員一同鋭意邁進してまいります。皆様には引き続きご支援賜りたくお願い申し上げます。

2012年12月

代表取締役社長

玉井 信光

投資銀行事業と企業投資、
2つの事業を両輪として
様々な顧客企業のニーズに応え、事業拡大を支援します。

企業の成長、事業拡大に貢献
企業に真に必要とされるブティック型投資銀行

投資銀行事業

企業の資金調達ニーズに対し、
ストラクチャードファイナンス・
プロダクツを提供

プロダクツ組成に係る アレンジメント手数料等を計上

ストラクチャー（仕組み）の組成、業務受託によるアレンジメント手数料、並びに組成プロダクツに対するプリンシパルファイナンス（資金提供）による収益を計上。

企業投資

潜在性・将来性の豊かな企業に投資
成長を支援し、
投資先企業の価値を高めます

株式売却や配当収入等による 企業投資の収益化

価値が向上した投資先企業の株式売却により、収益を計上。投資期間中においても、投資先企業からの配当金や経営管理報酬により収益を計上。

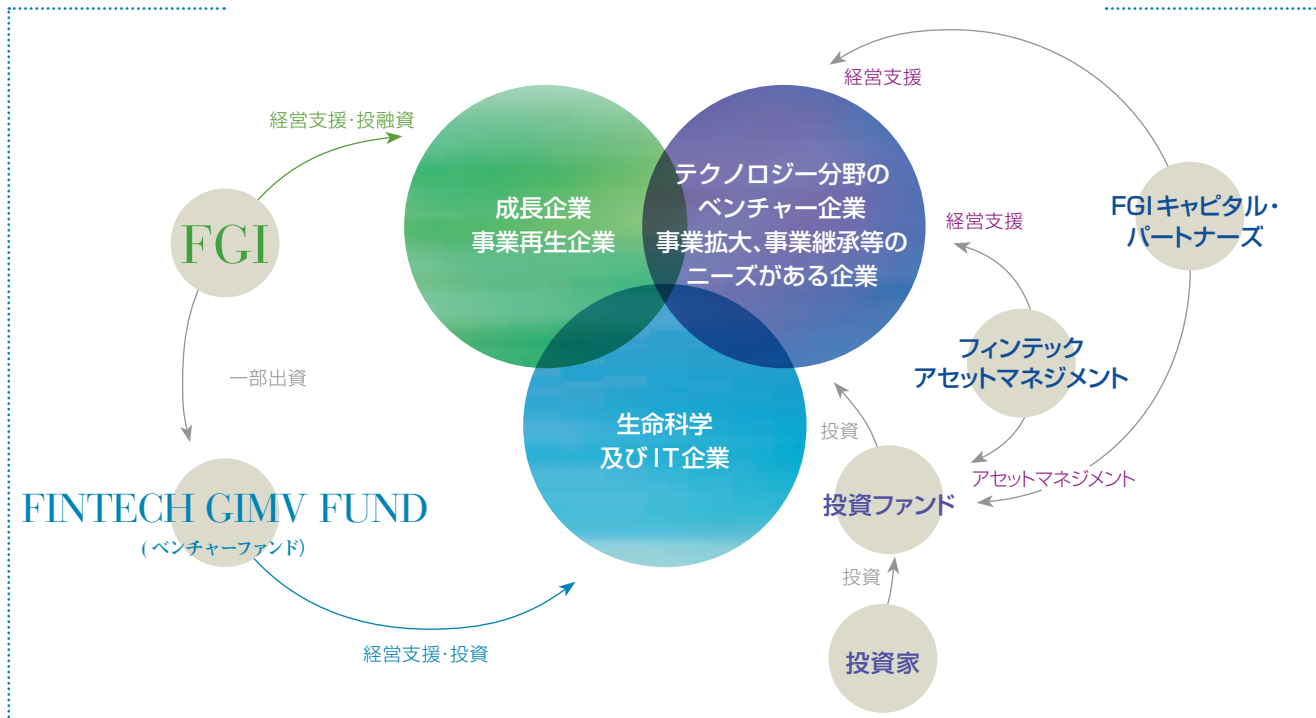
3つの企業向け投資体制

FGIグループは、FGIの自己資金による投資、
FGIが一部出資するベンチャーキャピタルファンド(FINTECH GIMV FUND)による投資、
そしてアセットマネジメント事業における運用戦略としての投資、
という3つの企業向け投資体制を有しています。

3つの投資体制は独自のポリシーで投資を行いつつ、
グループとして有機的に連携を保ち、企業投資や経営支援を行っています

プリンシパルインベストメント
(自己資金による投資)

アセットマネジメント



投資銀行事業：

大型ファイナンスアレンジが実行できず売上減少

企業再生のフィナンシャル・アドバイザー業務で一定の収益を計上し、ファイナンスニーズに対応するソリューションを提供しました。また、開発型流動化や再生可能エネルギー関連のファイナンスアレンジメント受託にも注力しました。しかし大型のファイナンスアレンジが当期に実行できず、売上は減少、営業損失となりました。

アセットマネジメント事業：

企業投資のファンド運営事業を開始

ヘッジファンド運用は苦戦

アセットマネジメント事業では、外部投資家を招聘して有望企業・事業に投資するファンドを設立・運営する事業を開始しています。また、不動産アセットマネジメントにおいては、高齢者専用賃貸住宅の開発・運用案件、賃貸住宅の運用案件で受託資産残高が増加しました。一方でヘッジファンド運用は、グローバル・マクロ・ファンドとの投資一任契約の解除でヘッジファンド運用の受託資産残高が大幅減少しました。2011年10月に開始した新運用戦略の運用成績は好調でありましたが、AIJ問題の影響を受け受託資産の積み増しが遅れる結果となりました。

プリンシパルインベストメント事業：

大型投資案件の売却は次期にずれこむ

不動産投資案件の回収及び投資先企業からの経営管理報酬で収益を計上する一方、償却済債権や長期未回収債権の回収でも成果を挙げました。しかし予定した大型の企業投資案件での株式売却に至らず、当期の収益計上は限定的となりました。

その他投資先事業：

- 福利厚生サービス事業を展開する㈱ベルスはサービス提供先企業及びアライアンスパートナーを順調に増やし営業基盤を強化するとともに、持家サービス部門の広告・キャンペーンにより、増収増益(売上高555百万円、営業利益88百万円)となりました。

2012年9月期セグメント別業績	売上高	営業損益	百万円
投資銀行事業	165	△110	
アセットマネジメント事業	226	△148	
プリンシパルインベストメント事業	796	227	
その他投資先事業	881	△217	
公共財関連事業	208	△106	
合計	2,278	△355	
調整額	△240	△619	
連結損益計算書計上額	2,038	△974	

- FINTECH GIMV FUND,L.P.(FGF)は生命科学及びIT企業への新規投資を継続する一方、初の投資回収として創業ベンチャー企業の株式を売却し、売上高322百万円、営業利益196百万円を計上しました。
- 再保険事業を行うCrane Reinsurance Limitedは2012年1月以降、新たな再保険契約を締結せずに、既存契約に基づき収益費用を計上しています。当期は、出再保険会社であるHardy (Underwriting Agencies)Limitedから、突如多額の保険料返戻及び保険金支払に関する請求を受けたため、当該保険会社に請求内容を照会したところ、当該保険会社またはその関係先における保険料や保険金の精算に誤りがあったために調整したことが、多額の請求の主な原因であるとの報告を受けました。その後も、Craneの要請にもかかわらず上記請求内容の妥当性を裏付けるに足る説明内容やデータが提供されていませんが、引き続き真相解明を急ぐとともに、当該保険会社やその他本件関係者との交渉を進めています。上述の経緯により、本決算ではCraneは売上を計上せず、今回の請求により見積られる損失のみ(営業損失430百万円)を計上しています。

公共財関連事業：

公会計ソフトを開発・販売する当事業では、総務省の「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」の答申を待つ地方自治体が多いため、契約件数が伸び悩みました。一方で、セグメント別行政コスト自動計算ソフト「改革」の販売を開始するとともに、地方自治体以外で官庁会計を利用するマーケットを開拓して契約拡大に努めています。

連結財務諸表

連結貸借対照表

科目	当期末	前期末
	(2012年9月30日現在)	(2011年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	5,722,554	6,656,212
現金及び預金	2,522,754	1,804,161
売掛金	132,127	125,682
営業投資有価証券	2,400,089	2,002,744
販売用不動産	—	420,531
繰延税金資産	7,089	1,049
営業貸付金	2,480,482	2,707,235
未収入金	107,063	1,563,973
その他	98,851	122,286
貸倒引当金	△2,025,903	△2,091,453
固定資産	695,386	1,026,282
有形固定資産	151,253	169,408
無形固定資産	280,177	502,844
投資その他の資産	263,955	354,029
資産合計	6,417,941	7,682,494
(負債の部)		
流動負債	807,893	1,176,541
買掛金	24,151	24,356
1年内償還予定の社債	16,000	—
短期借入金	40,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	2,171	81,837
未払法人税等	27,806	15,812
預り金	474,164	490,755
賞与引当金	26,730	26,251
その他	196,868	482,528
固定負債	1,977,386	1,635,063
社債	56,000	—
長期借入金	2,986	45,157
繰延税金負債	83,335	74,123
退職給付引当金	99,310	86,097
保険契約準備金	1,648,449	1,286,699
その他	87,304	142,985
負債合計	2,785,279	2,811,604
(純資産の部)		
株主資本	2,543,061	3,936,656
資本金	2,312,517	2,312,384
資本剰余金	5,183	5,183
利益剰余金	277,772	1,671,501
自己株式	△52,412	△52,412
その他の包括利益累計額	△180,749	△179,872
その他有価証券評価差額金	△2,333	△629
為替換算調整勘定	△178,416	△179,243
新株予約権	18,005	18,091
少数株主持分	1,252,344	1,096,015
純資産合計	3,632,661	4,870,890
負債・純資産合計	6,417,941	7,682,494

連結損益計算書

科目	当期	前期
	(2011年10月1日から 2012年9月30日まで)	(2010年10月1日から 2011年9月30日まで)
売上高	2,038,093	6,988,197
売上原価	1,129,200	3,479,193
売上総利益	908,893	3,509,003
販売費及び一般管理費	1,883,727	2,232,314
営業利益又は営業損失(△)	△974,833	1,276,688
営業外収益	68,008	13,940
営業外費用	8,823	69,728
経常利益又は経常損失(△)	△915,648	1,220,900
特別利益	3,913	589,628
特別損失	209,487	398,839
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△1,121,222	1,411,689
法人税等	31,567	61,432
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	△1,152,790	1,350,257
少数株主利益又は少数株主損失(△)	121,773	△53,789
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,274,564	1,404,046

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	(2011年10月1日から 2012年9月30日まで)	(2010年10月1日から 2011年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	959,522	1,953,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	80,417	△631,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,265	△413,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,733	△27,319
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	811,408	881,683
現金及び現金同等物の期首残高	1,711,345	829,661
現金及び現金同等物の期末残高	2,522,754	1,711,345

役員 (2012年12月21日現在)

取締役

玉井 信光 代表取締役社長 投資銀行本部長

オリックス(株)にて航空機ファイナンスをはじめとするストラクチャードファイナンス手法を用いた金融商品の企画販売業務を担当。その後、保険関連事業の策定・展開、リスクファイナンスや保険をベースとしたプロジェクトファイナンスのアレンジ等を手掛ける。新しいインベストメントバンキング形態を目指し、1994年当社を設立。



ロバート・ハースト 取締役会長

FGIキャピタル・パートナーズ(株)代表取締役社長

バンカーストラスト、International Finance Corporation(米国)、Citibank NA(日本)にて、デリバティブ、ストラクチャードファイナンスのプロフェッショナルとして活躍。AIG Financial Products Corp.においては、取締役として日本及びアジアにおけるビジネスを統括。Bank AIG (Securities)駐日代表等を経て、2004年6月フィンテックパートナーズ(株)(現フィンテックグローバル証券(株))入社。同社代表取締役会長等を経て、2007年12月当社取締役会長に就任。



鷲本 晴吾 取締役 執行役員 経営管理部長

(株)富士銀行(現(株)みずほ銀行)にて支店長等を歴任。その後、同行審査部、資産監査部において与信審査及び資産監査業務に従事。2004年8月丸善(株)入社。その後、執行役員財務統括センター長に就任。2007年9月より当社管理本部財務部長として財務・経理業務を所管。2009年4月当社執行役員 財務部長、2009年12月当社取締役に就任。



三橋 透 取締役 フィンテック アセットマネジメント(株)代表取締役社長

(株)三和銀行(現(株)三菱東京UFJ銀行)においてニューヨーク支店、東京法人営業第四部で法人営業を担当。その後、新宿新都心法人営業第一部にて、大企業を担当する部門を統括。2007年2月、当社入社。2009年4月、当社執行役員 投資銀行本部副本部長。2009年12月当社取締役に就任。2012年4月フィンテック アセットマネジメント(株)代表取締役社長に就任。



山中 秀介 取締役 上席執行役員 グループ事業開発本部長

オリックス(株)において、主に近畿圏で国内企業向けリース営業を経た後、1994年から5年半の 아일랜드法人勤務を含め、約18年間一貫して航空機リース事業に従事し、アイルランド法人取締役、オリックス・エアクラフト(株)の代表取締役社長、オリックス(株)の航空事業グループ長を歴任。マーケットを先取りし、格安航空会社との取引拡大を推進するなどして、航空分野をオリックス海外事業の柱の一つに育て上げる。2011年12月当社取締役に就任。



監査役

二宮 幸一 常勤監査役

西川 茂樹 監査役

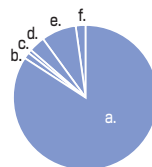
萩原 啓史 監査役

会社概要・株式の状況 (2012年9月30日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	23億1,251万7,793円
連結従業員数	60名(臨時従業員、派遣社員を除く)
連結子会社数	10社
発行可能株式総数	3,084,000 株
発行済株式の総数	1,209,243 株
株主数	10,915 名

	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大株主 (上位10名)	1. 玉井信光	240,955	19.92
	2. 藤井優子	52,014	4.30
	3. SIX SIS LTD. (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	38,608	3.19
	4. 青島正章	35,325	2.92
	5. BANK JULIUS BAER AND CO.,LTD. (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	24,800	2.05
	6. 関東財務局	19,635	1.62
	7. FGIキャピタル・パートナーズ株式会社	17,400	1.43
	8. 平野修	14,364	1.18
	9. ロバート・ハースト	12,650	1.04
	10. 田村直文	12,200	1.00

	持株数(株)	持株比率(%)
株式分布状況 (所有者別)		
a. 個人・その他	1,018,356	84.21
b. 政府・地方公共団体	19,635	1.62
c. 金融機関	8,769	0.73
d. その他国内法人	42,320	3.50
e. 外国人	95,267	7.88
f. 証券会社	24,896	2.06



株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場(証券コード：8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.fgi.co.jp/japanese/ir/download.html#denshi
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

フィンテック グローバル株式会社

金融商品取引業(第二種金融商品取引業、投資助言・代理業)

登録番号：関東財務局長(金商)第1469号

<http://www.fgi.co.jp/>

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28

虎ノ門タワーズオフィス 19F

Tel. 03-5733-2121 (代表)

Fax.03-5733-2124